

F2-1 四国の高速道路の整備の現状

日本道路公団 四国支社 鈴木 淳司

1. 概 要

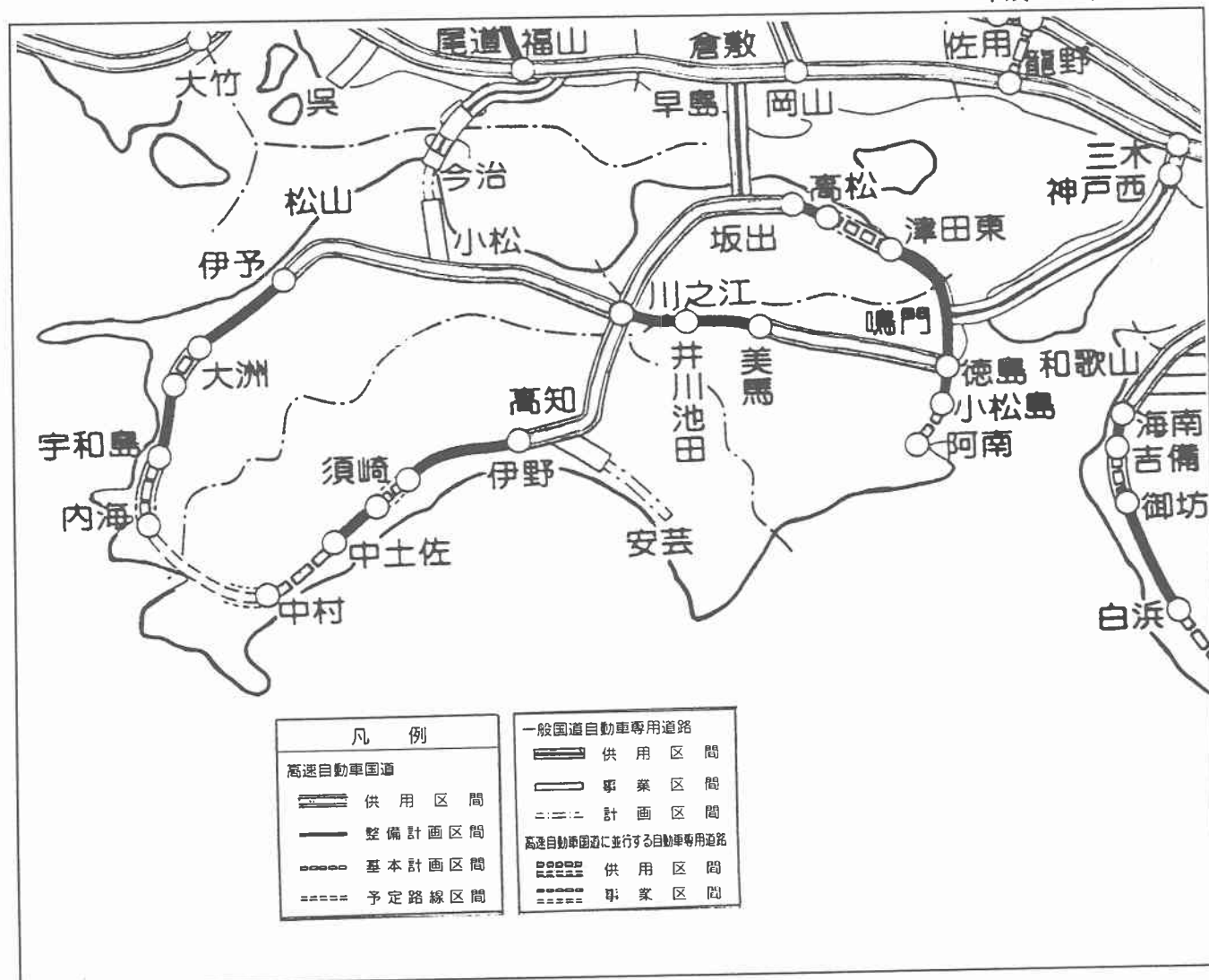
四国の高速道路は徳島市を起点に愛媛県の大洲市まで四国を東西に結ぶ四国縦貫自動車道222kmと、阿南市を起点に高松市、高知市、須崎市を經由し大洲市まで四国を南北に横断する四国横断自動車道443kmの合わせて665kmが国土開発幹線自動車道建設法に基づく予定路線として定められている。

縦貫自動車道と横断自動車道は愛媛県川之江市において連結され、四国4県を8の字型で結ぶ高速道路網として計画されている。

将来は、本州四国連絡道路の3ルートと一体となり、四国と本州は高速道路で結びついた広域的な経済・文化圏が形成されることとなる。

高規格幹線道路網図

平成10年4月現在



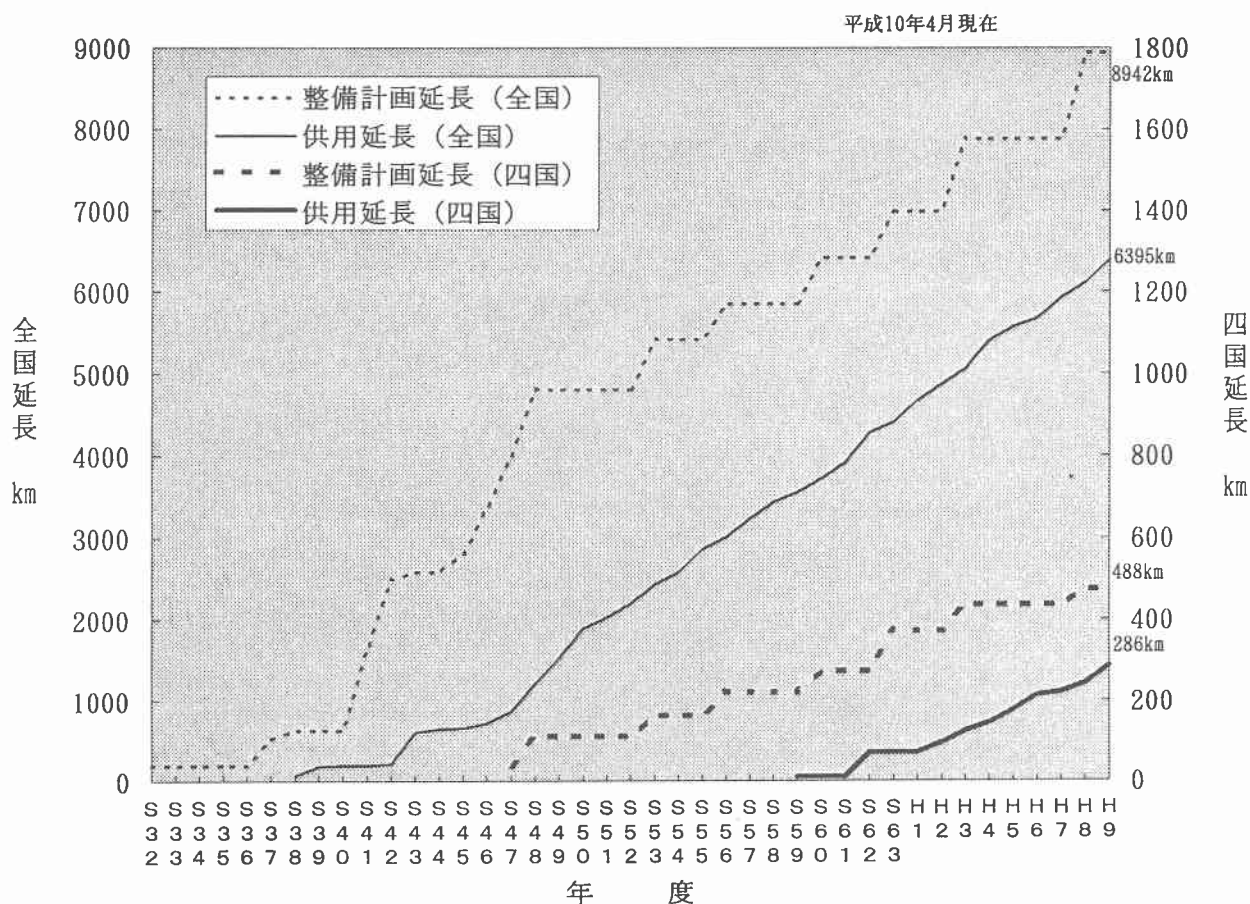
2. 整備現況

四国内の高速道路は、昭和４７年（１９７２）に施行命令を受け昭和６０年（１９８５）３月に開通した松山自動車道の三島川之江ＩＣ～土居ＩＣ間１１ｋｍを皮切りに、計画延長６６５ｋｍの１日も早い完成をめざし現在鋭意事業を展開している。平成１０年４月現在の高速道路の開通延長は２８６ｋｍ、これは予定路線に対して４３％の達成率であり、全国平均の５６％に比べ１０％以上も低い状況となっている。

四国と全国の高速道路の整備現況

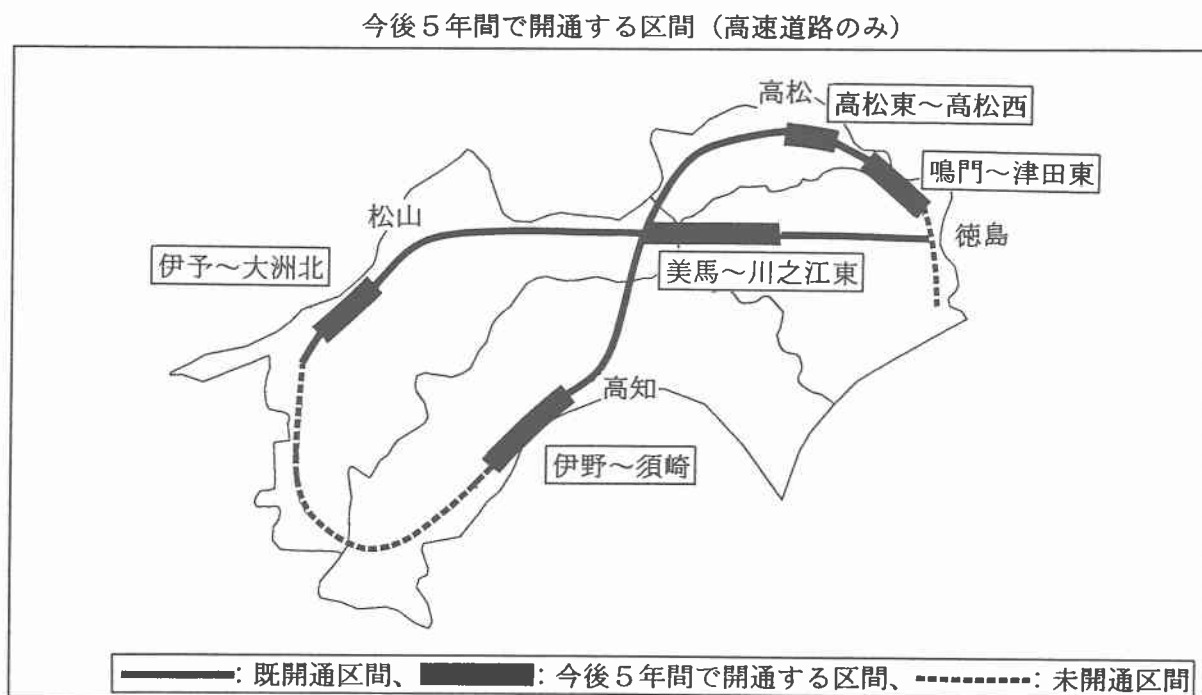
		四 国 内		全 国		対全国比率
		延長 k m	比率 %	延長 k m	比率 %	%
予定路線延長		665		11,520		5.8
事業中	開 通 区 間	286	43.0	6,395	55.5	4.5
	工 事 中 区 間	171	25.6	1,882	16.3	9.1
	調 査 中 区 間	31	4.7	665	5.8	4.7
	計	488	73.3	8,942	77.6	5.5

※上記、四国内開通延長は、一般有料道路 津田東～さぬき三木間（13km）を含む

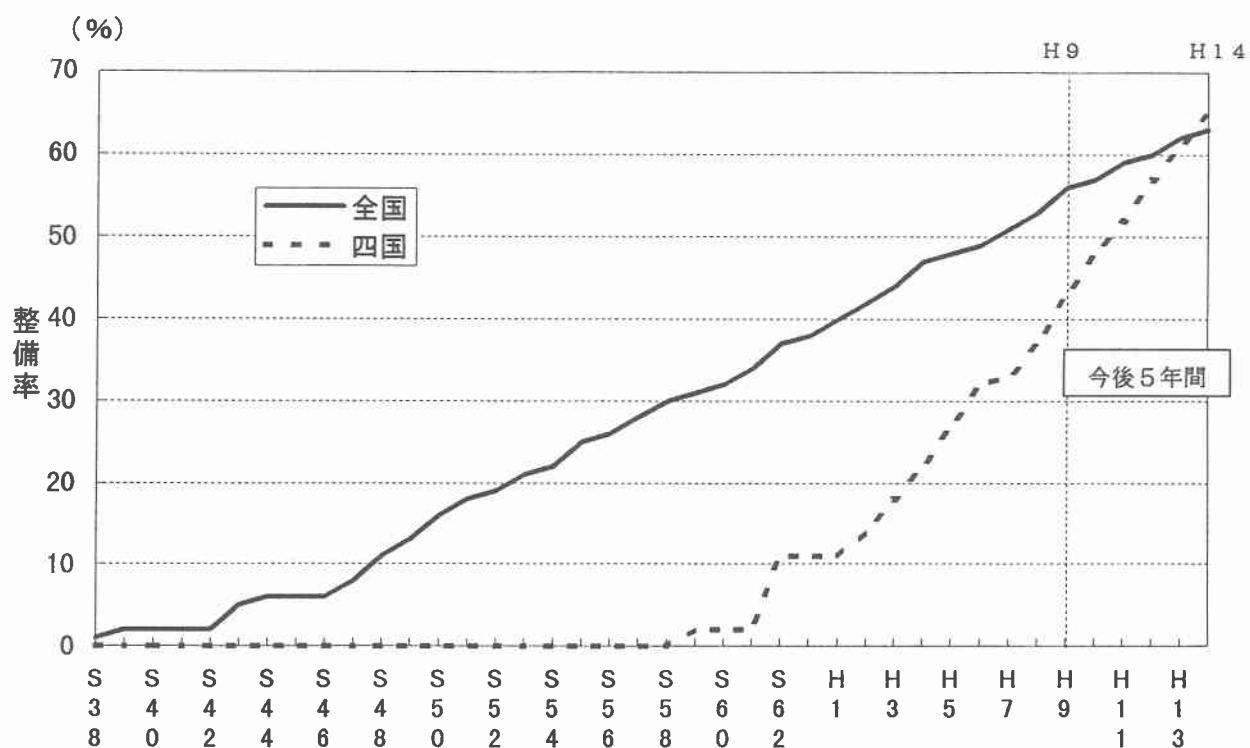


3. 今後の計画

四国の高速道路は、今後5年間（道路整備五箇年計画H10～H14）に現在工事中の区間のうち新たに約150kmが開通し、現在10%以上遅れている整備率が全国水準と同じレベルにまで達する予定である。また、残る事業中区間についても早期開通をめざして事業を展開していく。

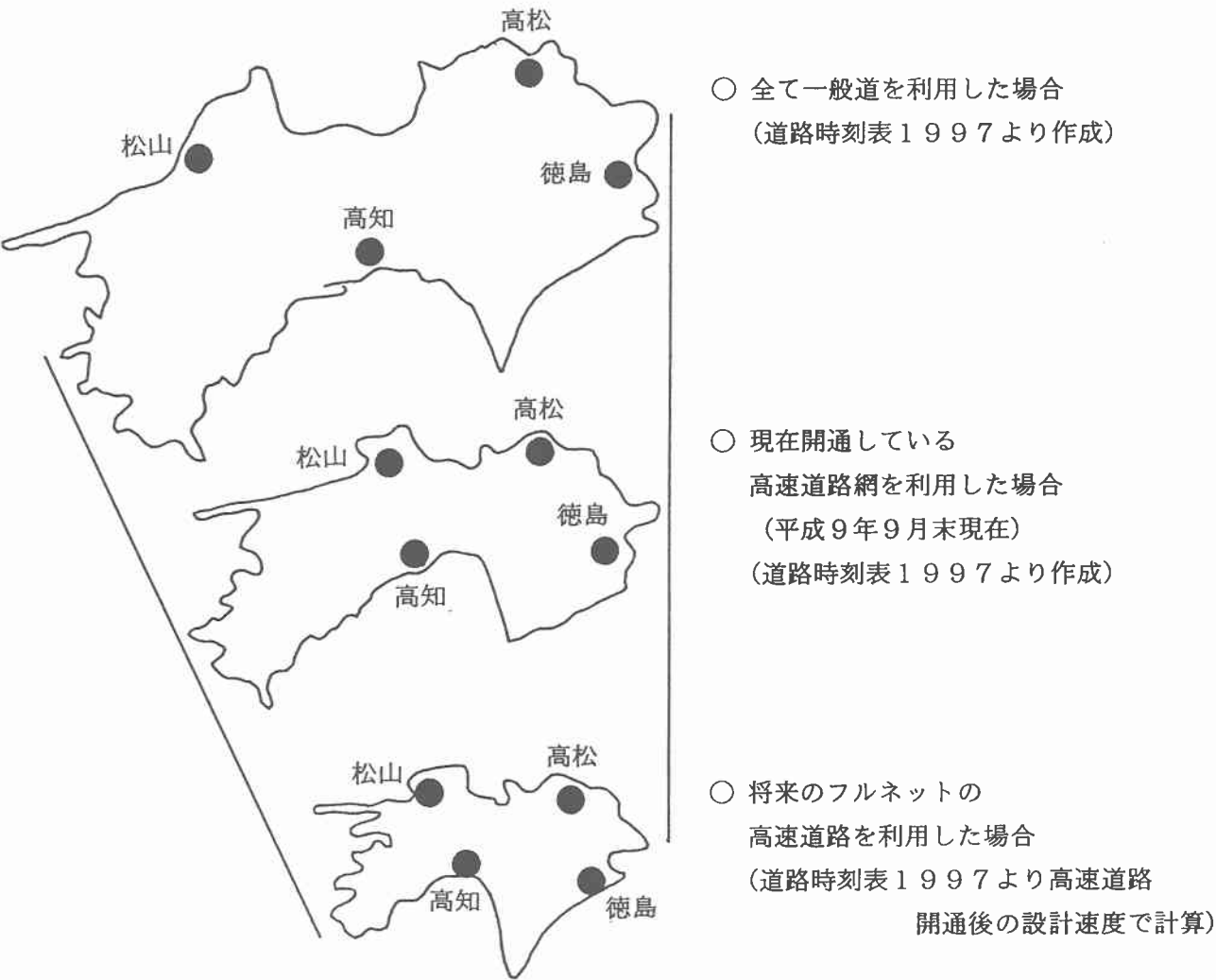


整備率



4. 整備効果

高速道路網の整備による四国内時間距離の短縮効果は以下のとおりである。



区 間	距 離	所 要 時 間		
		全て一般道を利用	現在開通している 高速道路を利用	将来のフルネット の高速道路を利用
徳 島 ～ 高 松	国道11号 75.0	2時間11分 1	1時間39分 0.76	1時間09分 0.53
徳 島 ～ 松 山	国道192、11号 182.6	5時間10分 1	4時間11分 0.81	2時間52分 0.55
徳 島 ～ 高 知	国道192、32号 154.2	3時間52分 1	3時間36分 0.93	2時間32分 0.66
高 松 ～ 松 山	国道11号 151.2	4時間12分 1	2時間14分 0.53	2時間14分 0.53
高 松 ～ 高 知	国道32号 140.8	3時間21分 1	2時間07分 0.63	1時間54分 0.57
松 山 ～ 高 知	国道33号 122.0	2時間40分 1	2時間37分 0.98	2時間24分 0.90

※平成9年9月末現在で算定